

る三十班（各班十八名）の混成チームを作り、五班づつ六リーグに分かれてリーグ戦が行われた。試合中は全員が時の経つのも忘れてプレイを楽しんだり、観戦したり、声援を送ったりで大いに盛り上がった。各リーグ戦で優勝した班には、学部長より賞状と賞品が手渡された。午後二時から閉村式が氷池駐車場横の空き地で行われた。総局長と学部長の挨拶に続いてテーマソングを全員で合唱し無事に終了した。

午後二時三十分に第一陣が、午後五時三十分に第二陣がそれぞれ六台のバスに分乗して野呂山を後にした。

今回が最初の工学部オリエンテーションキャンプであつたため、未知の部分も多く不手際も少なからずあつたかも知れない。しかし、学生役員を始めとする関係者のご尽力によつて大過なく無事終了した。ここに改めて関係者各位に御礼を申し上げたい。

られなかつた人の話等で盛り上がり長い
いはゞの夜がとても短く感じられた。
オリキヤンの最大の利点は友達ができ
たことだと思う。友達とのこの日々は
一生に残る思い出になるだろう。来年
からもオリキヤンを成功させてほしい。

感動の涙を忘れない

工学部第四類(建設系)一年

藤原裕子

五月十一日、東体育馆で初めて出会つ
た人達は、今はなくてはならない友にな
つた。

皆に会うまでは、どんなキャンプに
なるのか、すごく不安だった。顔合わ
せをした時も、なかなかしゃべれずに
困つていると、Fellow の先輩が、一生

（工学部第二類（電気系）四年
工学部新入生オリエンテーション
キャンプ実行委員会委員長）
柴田勲男

思い起こせば三年前、僕は新入生として広島大学に入學し全学オリキャンに参加しました。そのオリキャンはその名の通り僕の大学生活を方向付けてしまったのです。そこで出会った人々への憧れと負けん気で、毎年フェローやスタッフとしてオリキャンに関わつ

A black and white photograph capturing a large, dense crowd of people gathered outdoors at night. The scene is dominated by a bright, circular light source in the upper left, which appears to be the headlights of a vehicle. This light illuminates the faces and figures of the people in the immediate foreground, while the rest of the scene remains in deep shadow. The crowd is packed closely together, filling the frame from edge to edge. In the lower right corner, there is a small, semi-transparent digital overlay containing the text "33 5 2".

盛り上がったキャンプファイア

る三十班（各班十八名）の混成チームを作り、五班づつ六リーグに分かれてリーグ戦が行われた。試合中は全員が時の経つのも忘れてプレイを楽しんだり、観戦したり、声援を送ったりで大いに盛り上がった。各リーグ戦で優勝した班には、学部長より賞状と賞品が手渡された。午後二時から閉村式が氷池駐車場横の空き地で行われた。総局長と学部長の挨拶に続いてテーマソンゲを全員で合唱し無事に終了した。

午後二時三十分に第一陣が、午後五時三十分に第二陣がそれぞれ六台のバスに分乗して野呂山を後にした。

今回が最初の工学部オリエンティー ションキャンプであつたため、未知の部分も多く不手際も少なからずあつたかも知れない。しかし、学生役員を始めとする関係者のご尽力によつて大過なく無事終了した。ここに改めて関係者各様ご訓示を申上げたい。

の寒さを実感させ、その後のナベでは取り合いで自然界での弱肉強食の様なものを、肉や野菜が生にえである事で当日料理が失敗しても食べられる強い胃腸の大切さをしみじみ感じさせた。又、いうすばらしい意図に満ちていた。又、衣装作りでは先輩の意外なうまさを知り、その後のカラオケでは班員の異様なカラオケのうまさに驚き、いろんなところで班員達のいろいろな姿を見られた。そして当日、いろいろな企画があつたが中でも寝る前のテントは最高だつた。もの知りな班員の食物や薬の全く未知な新しい使い方の話や当日辛られなかつた人の話等で盛り上がり長いはずの夜がとても短く感じられた。オリキヤンの最大の利点は友達ができることだと思う。友達とのこの日々は一生に残る思い出になるだろう。来年からもオリキヤンを成功させてほしい。

懸命盛り上げてくれた。キャンプに行くまでの十日間で、この班でならやつて行けると思った。

キャンプ当日は、あいにくの雨だったが、そんなこと全然気にならなかつた。皆で作った御飯が、最高においしかつたこと、キャンプファイヤーで踊り狂つたこと、キャンドルサービスの静かな雰囲気、ドッヂボール大会で最下位だったこと、今では全てが素晴らしい思い出だ。

皆と過ごした、この約十日間で学んだことは多かった。楽しむこと、けじめをつけること、協力すること、そして感動すること。数多くのきっかけを作ってくれたオリキャンに感謝したい。そして、最後に皆で流した、あの感動の涙を私は忘れない。

それぞれの思い出の中に

てきました。多くの仲間達と供に泣き笑い、時には喧嘩もしながら過ごしました。時間は僕の大学生活の半分を占め、そこには、愉快な仲間と尊敬できる友人と、そして成長した自分が存在しました。まさしく一番充実していた時間だと感じています。

残念ながら今年からは、学部別のオリキヤンになってしまったけれど、中本に流れる大切なものは決して失わはしません。これだけは決して失わたいで欲しい。そうしていつの日か全員のオリキヤンが復活できたら、そして自分と同じような思いに感動していく新入生がいてくれたら……。やつぱりオリキヤンはイイですよ。



キャンプファイヤー

かれ、七人の教授、助教授が軽いタッチで研究や研究室紹介（一人二十分）した。同じキャンパス内でも知らないことが多く、とても有意義であった。とくに新しく参加の保健学科の方々の話はタイムリーであつたと思う。

それではこのようなプログラムは新入生に向くかといえば、それはまたいろいろな意見があろう。一般に霞の教官は研究や臨床に目が向きやすく、実際今まで二年間の教養科目の済んだ人のみを対象としている学部であるから、十八才くらいの若者の教育とか、何が必要かなどの配慮は必ずしも得意でなかつたと思う。自分の仕事の延長上を考える教育的効果のみにとらわれるところなく、教官も年に一回くらい十八才に戻つて楽しむことだって有意義だろう、このような行事の効果をさらに見直す観点も必要だろう。

学科間の壁を越えた

オリエ

卷之四

ヤマハ如天語

オリキヤンに参加した学生は既にこれだけでもオリキヤン効果のあつた人々であり、むしろ参加しない人々はどうなっているのだろうか、教官にあてはまる宿題である。

功したのはスタッフのチームワークが良かつたからだよ」とおっしゃったのを聞いた時非常にうれしかった。

これからも学科間を越えて霞地区
団結して霞オリキヤンを続けていつ
欲しいと思う。

オリエンテーション・キャンプ始末記

去年の九月、歯学部自治会の方から「霞地区でオリキヤンをすることになつたのでスタッフにならなかいか」と誘われた。しかし、オリキヤンのスタッフの大変さを知っていたので最初は断つていた。ところが歯学部からスタッフになる人間が一人しか居なかつたので僕もスタッフとして参加することになった。結局、最初は総局長を含めて五名のスタッフしかいなかつた。

それから八ヶ月後。スタッフはフーローを含めて約八十名にも増えた。医学部、歯学部の忙しいカリキュラムの中で多くの人々がスタッフとして参加してくれた。最初はスタッフの間にあつた学科間の壁もオリキヤンが近づくにつれてなくなつていった。

そしてオリキヤン本番。長かつた準備期間と比べてそれは一瞬のものだつた。本番の二日間は何事もなく無事終わり、なんとか成功に終わつた。

後日、教官の方が「オリキヤンが成

工学部オリエンテーションキャンプが五月二十二日(土)、二十三日(日)の両日に新入生四百四十五名、学生役員三十三名、フェロー三十名、教職員五十名(両日二十三名、当日二十七名)が参加して野呂山で実施された。

初日の朝は生憎の雨であったが、午後には止むとの天気予報を信じて決行された。多数のため第一陣(午前八時出発)と第二陣(午前十一時出発)に分けて各陣六台のバスに分乗し工学部を後にした。最初の計画では、登山で下車して山頂までの5kmの道程を徒歩で登山という事であったが、雨天のためバスでそのまま山頂へ向かった。

午後二時から開村式が水池駐車場で小雨の中行われ、新入生とフェローはそれぞれ班毎に手作りの奇抜な衣装に身を包み整列した。総局長の挨拶に続いて佐々木工学部長から「自信を持ったなさい」という主旨のお話しがあった。キャンプでは、常設テント二十五張り

を予約しており、残りは持參のテントを張る予定であった。しかし、雨天ためさらに常設テント四十三張りをきよ追加借用し、これで一応全員を設テントに収容できる状態になり、係者は胸を撫で下ろした。午後七時らはキャンプファイヤーが二個所でわれた。この頃には雨も止み、それれ大いに盛り上がった。キャンプファイヤーは午後十時まで続けられた。

次の日は晴れたり曇ったりのまづずの天気になった。当日参加の教官十七名も加わって、午前十一時三十分よりオリエンテーション企画が開始された。最初の三十分間は各類に別れて、類別のオリエンテーションが実施された。ある類は新入生を一堂に集め、その類はそれを小グループに分けて、思いの方法でガイダンスが実施された。後半の一時間三十分は工学部全によるドッヂボール大会に移った。こでは新入生、フェロー、教官から